

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立西舞鶴高等学校 】

1 実践テーマ	【 III・V 】
2 実施対象者	京都府立西舞鶴高等学校 生徒会、野球部、卓球部、バドミントン部 計40名 京都府立舞鶴支援学校 高等部 計30名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① その他（運動部員による各部活動紹介と運動のコツ紹介）
4 目標 (ねらい)	・スポーツを通して、障害のある人への理解を深め思いやりの心を育てる。
5 取組内容	<p>例年は、舞鶴支援学校の和太鼓チームと本校書道部との合同パフォーマンスや文化祭での交流、聾学校でバレーボールと一緒に楽しむなどの取り組みをしてきたが、コロナ禍で実現が難しくなっており、それに代わる活動について生徒会を中心に考えた。</p> <p>離れていても楽しめるように動画を作成し、高校の部活動について知ってもらい、動画を見ながらできる運動やスポーツ技術を紹介する形とした。</p> <p>生徒会役員を中心に取組を進め、各部活動に呼び掛けてそれぞれの部活動で生徒が撮影、編集などを担当した。支援学校生徒に向けてのメッセージや、特性を生かした運動の紹介など工夫を凝らした動画ができあがった。</p> <p>完成した動画は生徒会本部役員から舞鶴支援学校の先生へ手渡した。今後もさらに参加する部活動を増やし、継続した取り組みとする予定である。</p>
6 主な成果	<p>・これまでは書道部が舞鶴支援学校を訪問しパフォーマンスを行ったり、本校の文化祭に舞鶴支援学校生徒を招待し交流したりしてきた。また支援学校の製品を文化祭に展示し、本校の希望生徒が文化祭を案内するなど、部活動単位にとどまらず生徒全体に広がる取り組みとなっている。</p> <p>・地域で学ぶ同じ高校生としての意識をお互いに持つことができ、幼少期に交流のあった生徒同士がまた再会して交流を深める機会となっている。</p>

7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>これまで実施してきた取組を継続するため、支援学校との交流を柱として実施方法を検討した。しかしコロナ禍で対面実施できない中、支援学校の生徒も参加できる形態を工夫した。</p> <p>「スポーツに親しむ」ことを掲げ、各部活動での活動内容や運動についてわかりやすく説明できる動画を作成することにした。</p>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に対面していないので、わかりやすい説明になっているかが即座にわかりづらい。 ・事業に参加する部活動が少なかったが、今後継続して他の部活動の動画も作成する予定である。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ぜひ対面で交流の機会を作っていきたい。お互いの学校を行き来して共に活動する場面を作りたい。 ・動画での運動紹介は来年度以降も継続できる活動だと考えている。